平成26年3月期　第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上 場 会 社 名	株式会社ファンケル	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	4921	URL	http://www.fancl.jp/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長執行役員	(氏名)宮島　和美	
問合せ先責任者	(役職名)取締役常務執行役員 グループサポートセンター長	(氏名)島田　和幸	TEL 045-226-1200
四半期報告書提出予定日	平成25年8月9日		
配当支払開始予定日	―		

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	20,113	△0.5	358	69.8	479	75.3	237	413.6
25年3月期第1四半期	20,205	△6.9	210	△78.9	273	△71.4	46	△88.9

（注）包括利益　26年3月期第1四半期　236百万円(329.1%)　25年3月期第1四半期　55百万円(△86.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.66	3.65
25年3月期第1四半期	0.71	0.71

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	84,846	72,638	85.2
25年3月期	86,849	74,542	85.3

（参考）自己資本　26年3月期第1四半期　72,260百万円　25年3月期　74,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	17.00	―	17.00	34.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		17.00	―	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由につきましては(添付資料)５ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※　注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

② ①以外の会計方針の変更　　：　無

③ 会計上の見積りの変更　　：　無

④ 修正再表示　　：　無

(4)発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	65,176,600株	25年3月期	65,176,600株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,099,073株	25年3月期	269,757株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	64,706,158株	25年3月期1Q	64,885,331株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)５ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5

３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書 …… 8
四半期連結包括利益計算書 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記）…… 12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）…… 12
（セグメント情報等）…… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末以降の円高是正・株高を背景とした消費者マインドの好転により個人消費が堅調に推移しており、低迷が続いていた輸出も海外経済が徐々に改善していることから緩やかな増加に転じるなど、着実に持ち直しております。金融緩和の継続、さらに経済対策の効果も加わり、先行きは緩やかな回復軌道に乗るものと期待されます。

当第１四半期連結累計期間の売上高は、リブランディングに伴う大規模なプロモーションを展開していた前年同期の反動などによりファンケル化粧品が減収となったものの、栄養補助食品関連事業が増収となったことなどにより、全体では20,113百万円(前年同期比0.5%減)と前年同期並みの売上高を確保いたしました。営業利益は、化粧品関連事業のマーケティング費用が減少したことなどにより358百万円(前年同期比69.8%増)となりました。経常利益は、為替差益の計上などにより479百万円(前年同期比75.3%増)となりました。四半期純利益は、不採算事業の見直しの一環としてエステ事業を営む連結子会社の株式会社ノイエスの株式を当企業集団外へ譲渡したことに伴い、税金負担が減少したことなどにより237百万円(前年同期比413.6%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は11,033百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

	平成25年３月期 前第１四半期連結累計期間		平成26年３月期 当第１四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	8,933	78.8	8,716	79.0	△2.4
アテニア化粧品	1,909	16.9	1,991	18.1	4.3
その他	490	4.3	324	2.9	△33.8
合計	11,333	100.0	11,033	100.0	△2.6

	平成25年３月期 前第１四半期連結累計期間		平成26年３月期 当第１四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	5,511	48.6	5,544	50.3	0.6
店舗販売	3,855	34.0	3,806	34.5	△1.3
卸販売他	692	6.1	465	4.2	△32.7
海外	1,274	11.3	1,216	11.0	△4.5
合計	11,333	100.0	11,033	100.0	△2.6

ファンケル化粧品は、限定製品の発売などにより売上高の伸長を図りましたが、リブランディングに伴う大規模なプロモーションを展開していた前年同期の反動や洗顔パウダーリニューアル発売前の買い控えなどで、8,716百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

アテニア化粧品は、通信販売の新規のお客様数が前年同期に比べて27%増加するなどお客様基盤の拡充が進み、1,991百万円(前年同期比4.3%増)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は5,544百万円(前年同期比0.6%増)、店舗販売は3,806百万円(前年同期比1.3%減)、卸販売他は465百万円(前年同期比32.7%減)、海外は1,216百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

営業損益

損益面では、ファンケル化粧品のマーケティング費用が減少したことなどにより、営業利益は1,204百万円(前年同期比254.4%増)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は6,766百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

	平成25年３月期 前第１四半期連結累計期間		平成26年３月期 当第１四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	2,567	39.9	2,580	38.1	0.5
店舗販売	1,471	22.9	1,656	24.5	12.6
卸販売他	1,862	29.0	1,925	28.5	3.4
海外	529	8.2	604	8.9	14.0
合計	6,431	100.0	6,766	100.0	5.2

製品面では、ダイエットサプリメント「カロリミット」やリニューアル新発売したビューティサプリメント「ＨＴＣコラーゲンＤＸ」シリーズが好調だったことにより増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は2,580百万円(前年同期比0.5%増)、店舗販売は1,656百万円(前年同期比12.6%増)、卸販売他は1,925百万円(前年同期比3.4%増)、海外は604百万円(前年同期比14.0%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収となったものの、新規のお客様獲得のために一時的にマーケティング費用が増加した結果、380百万円の営業損失(前年同期は324百万円の営業利益)となりました。

③　その他

売上高

その他の売上高は2,313百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

	平成25年３月期 前第１四半期連結累計期間	平成26年３月期 当第１四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米事業	749	720	△3.9
青汁事業	830	786	△5.3
その他の事業	859	806	△6.2
合計	2,440	2,313	△5.2

発芽米事業は、通信販売が振るわず、720百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

青汁事業は、主力の「本搾り青汁プレミアム」が堅調だったものの、その他の製品が振るわず、786百万円(前年同期比5.3%減)となりました。

その他の事業は、雑貨事業が減収となったことなどにより、806百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

営業損益

損益面では、発芽米事業が原料米の価格高騰により採算性が悪化したものの、雑貨および肌着事業の収益性が改善した結果、前年同期並みの46百万円の営業損失となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて2,003百万円減少し、84,846百万円となりました。この要因は、流動資産の減少1,396百万円および固定資産の減少606百万円であります。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少1,208百万円および受取手形及び売掛金の減少1,047百万円と、自己株式の取得資金払込などによる流動資産「その他」の増加1,384百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、減価償却の実施などによる有形固定資産の減少267百万円および無形固定資産の減少199百万円ならびに敷金及び保証金の減少などによる投資その他の資産の減少139百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて98百万円減少し、12,207百万円となりました。この要因は、流動負債の減少85百万円および固定負債の減少13百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少429百万円および未払法人税等の減少757百万円と賞与引当金の増加459百万円であります。固定負債の減少の主な要因は、リース債務の減少などによる固定負債「その他」の減少25百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,904百万円減少し、72,638百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少888百万円および自己株式の取得などによる減少932百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.1ポイント低下し、85.2%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第１四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は27,019百万円となり、前連結会計年度末より1,208百万円減少いたしました。当第１四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は972百万円（前年同期は554百万円の支出）となりました。この内訳の主なものは、売上債権の増減額966百万円、減価償却費749百万円、その他の流動負債の増減額503百万円および賞与引当金の増減額468百万円などによる増加と、その他の流動資産の増減額1,066百万円および法人税等の支払額805百万円などによる減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は162百万円（前年同期は1,257百万円の支出）となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出378百万円、無形固定資産の取得による支出113百万円および連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出108百万円などによる減少と、有価証券の売却及び償還による収入472百万円などによる増加であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2,073百万円（前年同期は1,020百万円の支出）となりました。この内訳の主なものは、自己株式の取得による支出1,051百万円および配当金の支払額1,004百万円などによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年１月15日に公表いたしましたとおり、当社は事業の再成長とグローバル企業としての更なる躍進を遂げるため、創業者である池森賢二が経営執行に直接関与できる新経営体制へ移行いたしました。

新経営体制における事業戦略は現在策定中であり、現時点で合理的な業績予想の算定ができないため、業績見通しの開示を見合わせております。新事業戦略の策定が完了次第、平成26年３月期の連結業績予想を速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,720	17,512
受取手形及び売掛金	10,071	9,024
有価証券	13,359	12,888
商品及び製品	2,834	2,611
仕掛品	43	49
原材料及び貯蔵品	3,176	3,335
その他	1,995	3,380
貸倒引当金	△70	△66
流動資産合計	50,131	48,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,673	22,240
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,729	△13,564
建物及び構築物（純額）	8,944	8,676
機械装置及び運搬具	6,563	6,610
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,314	△5,392
機械装置及び運搬具（純額）	1,249	1,217
工具、器具及び備品	7,332	7,359
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,233	△6,219
工具、器具及び備品（純額）	1,098	1,139
土地	10,216	10,216
リース資産	326	257
減価償却累計額及び減損損失累計額	△213	△155
リース資産（純額）	112	101
その他	32	35
有形固定資産合計	21,655	21,387
無形固定資産		
その他	3,796	3,597
無形固定資産合計	3,796	3,597
投資その他の資産		
投資有価証券	7,327	7,326
その他	3,937	3,799
投資その他の資産合計	11,265	11,126
固定資産合計	36,717	36,111
資産合計	86,849	84,846

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,383	1,954
未払法人税等	932	175
賞与引当金	933	1,392
ポイント引当金	1,434	1,411
資産除去債務	2	2
その他	4,236	4,901
流動負債合計	9,922	9,837
固定負債		
退職給付引当金	1,593	1,616
役員退職慰労引当金	54	59
資産除去債務	498	481
その他	236	211
固定負債合計	2,383	2,370
負債合計	12,306	12,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	51,906	51,018
自己株式	△333	△1,266
株主資本合計	74,074	72,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	6
その他の包括利益累計額合計	6	6
新株予約権	461	378
純資産合計	74,542	72,638
負債純資産合計	86,849	84,846

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	20,205	20,113
売上原価	6,457	6,601
売上総利益	13,747	13,512
販売費及び一般管理費	13,536	13,154
営業利益	210	358
営業外収益		
受取利息	24	18
受取配当金	0	0
為替差益	50	51
雑収入	54	62
営業外収益合計	130	132
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	57	－
雑損失	11	11
営業外費用合計	68	11
経常利益	273	479
特別利益		
特別利益合計	－	－
特別損失		
固定資産売却損	－	13
固定資産除却損	5	4
減損損失	－	7
店舗閉鎖損失	13	7
訴訟関連損失	－	223
関係会社株式売却損	－	136
その他	0	2
特別損失合計	18	394
税金等調整前四半期純利益	255	85
法人税、住民税及び事業税	404	152
法人税等調整額	△195	△304
法人税等合計	209	△151
少数株主損益調整前四半期純利益	46	237
四半期純利益	46	237

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	46	237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△0
その他の包括利益合計	8	△0
四半期包括利益	55	236
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	55	236
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	255	85
減価償却費	788	749
減損損失	－	7
株式報酬費用	15	14
のれん償却額	28	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	53	△5
賞与引当金の増減額（△は減少）	508	468
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△14	△22
退職給付引当金の増減額（△は減少）	37	23
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4	5
受取利息及び受取配当金	△25	△19
為替差損益（△は益）	△51	△63
固定資産売却損益（△は益）	－	13
固定資産除却損	5	4
店舗閉鎖損失	13	7
訴訟関連損失	－	223
関係会社株式売却損益（△は益）	－	136
売上債権の増減額（△は増加）	△457	966
たな卸資産の増減額（△は増加）	△390	32
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△285	△1,066
その他の固定資産の増減額（△は増加）	3	2
仕入債務の増減額（△は減少）	△462	△405
その他の流動負債の増減額（△は減少）	12	503
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△12	△10
その他	△7	△2
小計	19	1,647
利息及び配当金の受取額	11	27
法人税等の支払額	△585	△805
その他	－	102
営業活動によるキャッシュ・フロー	△554	972

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	－	472
有形固定資産の取得による支出	△464	△378
有形固定資産の売却による収入	－	0
無形固定資産の取得による支出	△585	△113
無形固定資産の売却による収入	－	2
関係会社出資金の払込による支出	－	△44
関係会社株式の取得による支出	△203	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	－	△108
貸付けによる支出	△25	－
貸付金の回収による収入	29	6
その他の支出	△20	△33
その他の収入	13	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,257	△162
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	－	0
自己株式の取得による支出	△0	△1,051
配当金の支払額	△1,009	△1,004
その他	△10	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,020	△2,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	55
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,790	△1,208
現金及び現金同等物の期首残高	25,056	28,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,265	27,019

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	化粧品関連事業	栄養補助食品関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,333	6,431	17,765	2,440	20,205	－	20,205
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	11,333	6,431	17,765	2,440	20,205	－	20,205
セグメント利益又は損失（△）	339	324	664	△45	619	△408	210

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失の調整額△408百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

３　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	化粧品関連事業	栄養補助食品関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,033	6,766	17,800	2,313	20,113	－	20,113
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	11,033	6,766	17,800	2,313	20,113	－	20,113
セグメント利益又は損失（△）	1,204	△380	823	△46	777	△419	358

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失の調整額△419百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

３　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。